

国労東日本本部

全地本へオルグを実施 6.13~7.23 GS雇い止め 人事賃金制度 エルダー制度 国労の闘いを通じて 組織拡大を実現しよう!



(組合員の購読料は) 組合費に含まれます

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 715 定価 20円

2011年

8月 1日

国労加入で変えよう 職場と労働条件

<http://www.e-nru.com>



携帯用ホームページはこちらのQRコードから



東京：上野支部



盛岡地本

オルグ行動日程

地 本	月 日
盛岡地本	7月8日
	7月9日
秋田地本	6月17日
	6月18日
仙台地本	7月1日
	7月2日
新潟地本	6月27日
	6月28日
高崎地本	7月21日
	7月22日
水戸地本	7月6日
	7月7日
千葉地本	6月30日
	7月20日
長野地本	7月22日
	7月23日
東京地本	新橋 6月13日
	上野 6月26日~27日
	神奈川 7月15日
	八王子 7月23日



水戸地本いわき

国労東日本本部は、6月13日の東京地本管内を皮切りに、7月23日の長野地本管内まで、高野委員長を先頭に全執行委員による「組織の強化・拡大」を主課題とした国労東日本本部管内全地方本部オルグを実施しました。各地方本部の組合員集会は盛況で、真剣で切実な要求や意見が出されました。今号は、①オルグ行動の報告を特集、②盛岡地本組織・教宣部長会議報告を掲載します。

集会では高野委員長から、①不採用問題、②組織の強化・拡大について報告した。「人事・賃金制

度の見直し」の取り組みをはじめ制度に関わる部分については、他の執行委員から説明し、組合員と現状認識を一致させることができ

情勢報告の冒頭、高野委員長から東日本大震災での組合員の被災状況と震災のなかった地方からの支援・協力へのお礼が述べられた。併せてこの間のGS社員の雇い止めの問題に対する国労東日本本部の取り組み状況を報告し、今後GS社員の組織加入の強化を訴えた。

制度の報告では、①「人事・賃金制度の見直し」提案後の取り組みと今後

の方向性、②エルダー制度の現状への取り組みを報告した。

組合員からは、JR不採用事件に対する取り組みについては「唐突すぎるのではないか」「これからの闘争団との付き合いはどうするのか」「当事者の意見を尊重して前に進む」などの意見が出された。組織の強化拡大の取り組みについては、「一人ひとりの要求を大切にしたい取り組みの方針を」「職場でのつながりを強化している」「職場では多様な採用者がいる中で



盛岡地本

第4回組織拡大標語募集

貴方の組織拡大に向けた「思い・決意」をスローガンに!



国労はあなたを歓迎します

ちっこの仲間を育て

応募作品

組織拡大運動のさらなる高揚を目的としたスローガンのもの

- ①他労組組合員等に呼びかける組織拡大標語
 - ②国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語
- 最優秀作品1本、優秀作品2本、入選若干名

応募方法

メールで、アドレスは nru.east1@apost.plala.or.jp パソコンの方は、ホームページからも送信できます。

応募期間

8月22日まで(東日本本部必着)

作品発表

第25回東日本本部定期大会(国労東日本本部執行委員会にて選考します。)



水戸地本



千葉地本



新潟地本

職場要求も多様になっていく。どのように組織拡大をしていくのか迷っている。などの意見が出された。また、「人事・賃金制度の見直し」については「この施策への組合の態度は」「高齢減給は即時廃止を」「若い人に問題点を訴えて要求の多数派になろう」などの意見が出された。更に、エルダー制度では「スケジュール通りにいっていないことで雇用不安になっていて、結果辞退することになる」「希望が合わなく辞退することになるのは

年金満額支給まで会社が責任を持つことになっていない」「出向先の労働条件が厳しすぎて働き続けられない」などの意見が出された。執行部からは、それぞれの意見に対して丁寧に答弁をし、組合員との情勢認識の一致と相互の理解を深め合った。

今回の地方オルグの中で共通して「継続してオルグを計画してほしい」との意見を受け、東日本本部として継続して地方オルグを展開していきながら、要求の多数派から組織の多数派に向けて奮闘していく。



盛岡地本

盛岡地本が組織・教宣部長合同会議を開催 6.11 技術継承にむけ変化する会社の対応 一歩前に行こうという明るさが見えた

東日本大震災から3ヶ月を経過した6月11日、盛岡地本は組織・教宣部長合同会議を開催しました。

会議では、大震災の甚大な被害があった中で、被害状況の把握と組合員への情報提供のために奮闘した教宣活動、被災の中で新規採用者獲得に向けた各分会の取り組みについてそれぞれ報告がされ共有化が図られました。

前段、東日本本部武田組織部長からは、「入社後、『東日本会社には複数組合があり、加入は自由である』『どこの組合に加入しても試験などの対応は同じ』と会社から新入社員に対して話がされており、一括和解以降の国労の取り組みによっては正させてきた。水戸で新採加入が実現し、5年連続で新採加入となっている」など状況が報告されました。

会議での主な報告は、
○新幹線の青森開業で新青森駅に13名が配属になり、掲示板の設置を申請し設置された。設備の問題

○震災アンケートを取り組み、通勤・出勤などで会社の対応を把握した。今後の災害時や異常時の扱いなどに生かしていきたい。

○震災の影響で新採の配属が分からなかったが、配属日に急遽対応した。しかし配属日に他労組加入が揭示されていて、公正な対応をしているのか疑問がある。

○ブラザー（指導者）には国労は指定されないが、見習いに付く人が出てきている。仕事を通して話していきたい。

○会社は技術継承、人材育成のために国労に対応を期待している。

○昇進試験合格者研修でJR発足時の発言を求められた。一日にして黒字になった矛盾などを若い人に質問された。

○自分の子供たちがJRに入ったなら国労に加入させるという話が出るように意識が変化してきている。

など被災の中でも一歩前に行こうという明るさが見えた交流になりました。



東京：新橋支部

6・13

全地本オルグのトップで 国労新橋支部が「拡大地区三役分会長会議」を開催 分散会で「組織拡大」の取り組みを交流

国労新橋支部は東日本本部の組織強化・拡大の（駅関係）

○配属日、一度非番で帰り終了時間の夕方ロッカー室で待つて声をかけた。国労グッズを渡し簡単な組合説明をしたが後日、東労組に加入した。

○新規採用者への取り組みについて（国労加入なし）

先に東労組に配属日夕方会議室を押さえられていた。

○配属日から2、3日以内に国労グッズを渡すのが精一杯。

○取り組みが出来なかった。

○今回、分会として取り組みにあたり、組合説明会を会社に申し込み、行動を起

した時に東労組と会社はどういう対応し行動するか観てみたいという発想から行動に移したのが本音。取り組みの結果として、東労組が会議室利用を事前手配していた。

○入り口で国労グッズを渡すだけに終わった。翌日、東労組分会長から国労グッズを返された。（2名分は返ってこなかった。）この事が来年の運動に繋がる。（車掌・保線・電気・その他）

○会社の会議室を借りて、組合説明会が出来た。加入者は出ていないが継続して取り組みを続けて行く。

○車掌区・運輸区は新採が来ないが駅からそれぞれ来るときに出身

職場の国労分会から紹介カードなど前職場での関わりを（個人の特徴）知らせてくれれば関わりが持ちやすい。

○職場での日常の取り組みで「付き合い方のあり方」が大切だ。

○職場レクや飲み会、送別会などに参加するようになったが、特定者だけに对应させず、組織的に話し合いをするのが大事。

○職場で同じ土俵にのぼらないと喧嘩できないのではないかと、分散会で具体的な発言がされた。

【新橋支部教宣部発】

最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。

新登場！

生きるためのがん保険 Days

「生きる」を創る。

Affac

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
東京第三法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日